

教室で今その時の最新情報に触れる

デジタル副読本「わたしたちのまち枚方」を本格運用

市は令和5年4月から、市内の全小学校でデジタル副読本「わたしたちのまち枚方」の本格運用を始める。小学校3年生・4年生向けの学習教材で、社会科の授業などで活用する。

同副読本は社会科の教科書をベースにした枚方市の地理や文化、歴史などで、地域の人々のインタビュー動画や、普段は立ち入ることのできない「楠葉雨水貯留管」や「消防指令センター」など、市民の安全を守る施設を360度カメラで撮影した全周囲の映像(画像及び動画)を収めている。全周囲映像から周りを見回したり、拡大したりすることで、児童が能動的に施設内部をより詳細に調べることができる。

最大の特徴は1,000を超える写真や動画の中から必要なものだけを探し出すことができる検索機能と必要な情報を随時更新できることで、常に臨場感のある最新の情報に触れることができることにより、子どもたちが地域社会を学び、枚方に愛着を持ち、地域社会の一員としての自覚が高まっていくことが期待される。

今後は、地域に関する情報を随時追加していくとともに、市全体の様々な情報や各小学校ならではの教材などを内包した学習プラットフォームとしても活用を進めて行く予定。

★同副読本は、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)の今井弘二氏から、動画や360度画像などの活用など、「紙では実現できないデジタルならではの物を作るべき」といった助言をもらいながら制作したもの。

★今年度は3年生の授業のみで運用を開始しており、教員や子どもからは以下のような声が寄せられ、デジタルの利点を上手に活用しながら地域への愛着を深めている様子が見られる。

【教員】

- ・枚方ならではの資料が豊富で、子どもたちの関心があるものを選んで授業で使うことができる。
- ・校外学習は年に数回しか行けないが、デジタル副読本なら同様の体験を数多くさせてあげることができる。

【児童】

- ・教科書にないものが載っているのが楽しい。
- ・写真や地図を拡大できるのでよくわかる。
- ・動画で見ると地域の話が印象に残りやすい。

★NICTは情報通信分野を専門とする唯一の公的研究機関であり、平成31年3月4日に市とNICTは連携協定を締結している。

<お問い合わせ>

学校教育部 学校教育室 教育指導課 ☎ : 050-7105-8052 FAX : 072-851-9335